

Meiji Seika ファルマ株式会社

2025 年 9 月 1 日

報道関係各位

**Meiji Seika ファルマとメディカルノート、疾患啓発における連携を強化
～ワクチン接種による新型コロナウイルス感染症予防の重要性を訴求～**

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永里 敏秋、以下、Meiji Seika ファルマ）は、株式会社メディカルノート（東京都港区、代表取締役：小林 裕貴、以下、メディカルノート）と連携し、国内最大級の医療情報メディア「Medical Note」内で新型コロナウイルス感染症予防に関する情報を発信し、ワクチン接種の重要性を伝える啓発記事を公開しましたのでお知らせします。

▼公開記事

「2025 年度新型コロナワクチン定期接種を前に——積極的な対策で感染症に備える」

佐賀大学 医学部 社会医学講座 予防医学分野 教授 原めぐみ先生

<https://medicalnote.jp/contents/250801-001-VC>**新型コロナウイルス感染症予防啓発の背景：重症化リスクの高い方を守るために**

新型コロナウイルスは起源株から変異を繰り返し、現在はオミクロン株の子孫株による流行が続いている状況です。直近の流行株は病原性が低くなってきているとはいえ、発症すれば場合により重症化して命に関わる恐れがあります。特に、高齢の方や基礎疾患のある方はその危険性が高まると考えられます。こうしたリスクは、新型コロナワクチンの重症化予防効果によって低減が見込めます。

新型コロナワクチンは全額公費による接種が 2023 年度末で終了し、2024 年度からは自治体ごとに定期接種が実施されています。しかし、2024 年度の定期接種から費用が一部自己負担となった影響もあり、前年と比べて接種率は低下しています。

このような現状を踏まえて、新型コロナウイルス感染症がもたらすリスクや、ワクチン接種などによる感染対策の重要性についての理解を深めてもらいたいという思いから、Meiji Seika ファルマとメディカルノートでは新型コロナウイルス感染症予防の啓発に取り組んでいます。

新型コロナ流行に備えるワクチン接種の重要性を伝え、予防に対する理解を促進

本記事の作成にあたっては、佐賀大学医学部 社会医学講座 予防医学分野 教授の原めぐ

み先生にインタビューを行いました。記事では、新型コロナウイルス感染症の昨シーズン（2024-25 シーズン）の流行状況と今後の流行株について医師の見解をもとにまとめています。流行に備えるための新型コロナワクチンの接種スケジュールや、定期接種の対象者についても分かりやすく解説しています。さらに、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクや、新型コロナワクチンの接種により期待できる効果について詳しく解説することで、新型コロナウイルス感染症予防やワクチン接種の重要性に関する理解を深めていただける内容となっています。

メディカルノートとの連携によって、より多くの方に信頼性の高い情報を発信

新型コロナウイルス感染症はインフルエンザよりも死亡率が高い傾向がみられるとの報告もあり、引き続き警戒すべき感染症であるからこそ、メディカルノートと連携して啓発活動を行い、より多くの患者さんやそのご家族に正しい医療情報を提供することが重要であると考えます。すべての人が“医療”に迷わない社会の実現に向け、誠心誠意努めてまいります。

【参考】株式会社メディカルノートとは

株式会社メディカルノートは、「医師と患者をつなぐ」をビジョンに掲げ、すべての人が“医療”に迷わない社会を目指す企業です。

一般生活者・患者向け医療情報メディア「Medical Note」を運営。臨床・研究・教育の第一線で活躍を続ける医師や専門家の協力のもと、最新のエビデンスや専門家の臨床経験に基づいた信頼できる医療情報を多くの方に届け、一般的な疾患だけでなくがんなどの課題が大きな疾患、特に難病・希少疾患領域に強みを有しております。

リアルとデジタルを融合することで医療をより身近なものとし、誰もが最適な医療を選択できる社会の実現を目指します。

以上